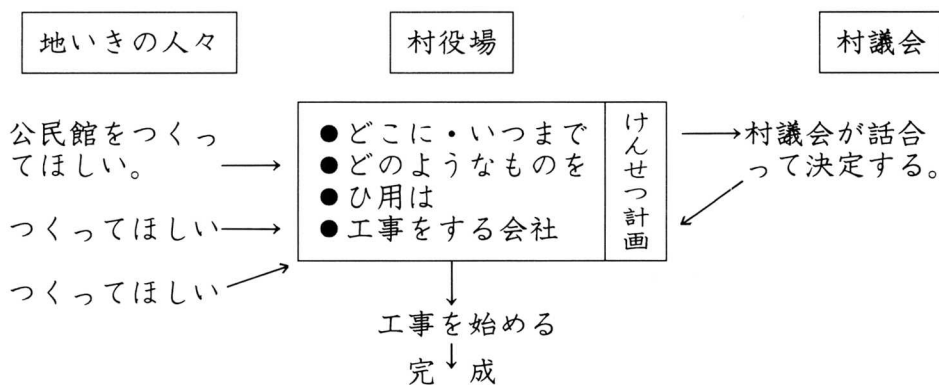


## ⑥ 公民館のけんせつ<sup>けいか</sup>経過

○ 公民館ができるまでの様子をまとめ、年表に書き入れてみましょう。

### 〈公民館ができるまでの様子〉

1955年（昭和30年）に「小平村」と「蓬田村」がいっしょになって、「平田村」が新しくできました。この時に、公民館は、第一公民館（前の蓬田村公民館）第二公民館（前の小平村公民館）として、それぞれいっしょになる前の村の中に作られました。1961年（昭和36年）に、「蓬田公民館」「小平公民館」がおかれ、小平には「中倉分館」がおかれました。そして、1965年（昭和40年）には、2つの公民館をいっしょにして、「平田村公民館」となり、下蓬田、永田、小平、中倉が分館となりました。1975年（昭和50年）には、下蓬田、永田、中倉の分館がなくなり、本館と小平分館が残りました。しかし、本館がせまいということで、村の人々から新しく公民館を建ててほしいというねがいがあり、1978年（昭和53年）に、新しい公民館を永田に建てることになり、工事が始まりました。そして、次の年の1月にかんせいし、蓬田にあった本館は分館として使われることになりました。新しい公民館を建てるために、1億5310万7千円かかりました。そのうち、国から3,000万円、県から1,200万円のえんじょをうけました。



80-1



村議会での話し合いのようす。

村長から事業の計画が出されると、議員は、村の人々の意見を聞いて、村全体のことを考えて、みんなで相談して決めます。村長も議員も、村の人々のせんきよでえられます。